

行田市公共施設照明LED化基本計画（令和7年4月改訂／概要版）

1 基本計画策定の背景と目的

- ・H28.5.13閣議決定の「地球温暖化対策計画」で「LED等の高効率照明が、2020年までにフローで100%、2030年までにストックで100%普及することを目指す」とされた。
- ・主要メーカーは公共施設で広く使用されている蛍光灯器具や蛍光灯について、生産を終了しはじめ、LED化を推奨している。
- ・公共施設全体の照明器具等の状況を一元的に把握し、統一的な方針の基、計画的かつ効率的にLED化を推進するため基本計画を策定。

2 基本計画の計画期間及び位置付け

- (1) 計画期間 R4(2022)～R9(2027)
(2) 位置付け

各種計画等と
目的を共有

行田市
公共施設
照明LED化
基本計画

観点	各種計画 等
施策	行田市公共施設等総合管理計画 等
施設	行田市義務教育学校設置に向けた再編計画 等
環境	行田市ゼロカーボンシティ宣言 等

3 公共施設の照明の実態

「公共施設の照明に係る調査」による

	調査対象施設 (施設)	照明器具総数 (台)	(a) 照明の総 本(個)数 (本(個))	(b) (a)のうち、 LED照明の総 本(個)数 (本(個))	(b)/(a) ×100 LED化率 (%)	照明に係る 年間電気料金 (円) ※1
計	221	32,474	45,165	8,903	19.7	42,793,986

※1 基本料金等は含まず、使用量と電気料金単価を基に計算

●調査…①期日（R4.1.1）、②対象（221施設）、③方法（原則、職員による目視）

4 計画的なLED化に向けた施設選定の視点

財政上の負担等を考慮

施設選定と年度計画の
ための視点の必要性

視点	考え方
1	公共施設の再編の方針
2	照明に係る年間電気料金
3	本市の他の計画との整合
4	一括発注による整理
5	公営企業所管施設の扱い

5 年度計画対象施設とその他の施設の分類

5つの視点を踏まえて分類

	年度計画対象施設	その他の施設
特徴	・比較的大規模 ・施設の寿命＞LEDの寿命	・比較的小規模 ・施設の寿命＜LEDの寿命

- ・年度計画対象施設のLED化実施時期は、照明に係る年間電気料金が上位の施設を優先（ただし、今後、公共施設の再編等が見込まれる施設は実施時期を検討し調整）
- ・その他の施設も施設の状況を踏まえLED化を目指す

6 LED化の手法について

手法	前提	判断
工事、リース等	15年以上経過の照明器具は器具ごと交換（安全、予防保全）	照明の数、補助金の有無 等

7 本計画の見直しについて

市の各種計画の見直し、電気料金の高騰などの社会情勢の変化及び本市の財政状況を総合的に勘案し、本計画内容に大幅な変更が生じる場合に適宜見直しを行う。